

社会福祉法人東京コロニー コロニー印刷

CSR報告書 2015

Corporate Social Responsibility Report

事業概要

事業名

社会福祉法人東京コロニー コロニー印刷

設立年月

1968(昭和43)年8月

事業所所在地

[コロニー印刷 中野工場]

〒165-0023 東京都中野区江原町2-6-7

TEL.03-3953-3536 FAX.03-3951-9163

[コロニー印刷 東村山工場]

〒189-0001 東京都東村山市秋津町2-22-9

TEL.042-394-1111 FAX.042-397-8117

事業所従業員数

217名(2015年3月31日現在)

事業内容

印刷全般、企画・制作、ホームページ作成、
デジタルデータ処理・加工、メールサービス、飲食事業

売上高

719,542千円(2015年3月期)

法人概要

法人名

社会福祉法人東京コロニー

設立年月

1951(昭和26)年10月

法人基本金

300,915千円(2015年3月期)

法人事業コンセプト(事業目的)

障害のある方の「完全参加と平等」を実現するため、当事者主体と企業性と民間性をコンセプトに障害福祉サービス事業等の運営を行っており、印刷事業等を通じて障害のある方が地域で働き・暮らすことの権利保障のために必要な活動に積極的に取り組んでいきます。

ごあいさつ

社会福祉法人としての責務を果たし、
環境に配慮しながら
印刷事業を行っていきます。

社会福祉法人東京コロニー
コロニー印刷 所長 星 忍



社会福祉法人としての役割

私たちは社会福祉法人として障害のある方を対象に自立支援事業を行っており、日頃から社会的責任を強く意識して法人運営を行っています。特に最近では、行政から社会福祉法人に対して、公共性をより一層重視した活動が求められています。社会福祉法においても、社会福祉法人に対し、法律で規定された福祉サービスの対象者だけでなく、「日常生活または社会生活上の支援を必要とする市民に対し、無料または低額な料金で福祉サービスを積極的に提供する」ことを要請する法改正が予定されています。私たちはそうした福祉事業の推進にあたり、障害のある方への経済的な支援となる工賃(賃金)を設定・実行するとともに、一般社会から社会福祉法人に寄せられる期待に応えるべく、広く相談等に応じていきます。

このように、社会福祉法人は存在そのものが公共的なものとして社会的責任を有しています。私たちが行う印刷事業においても、ユーザー様に発注いただくことがそのままユーザー様の社会貢献につながることにになり、WIN WINの関係が成り立つと考えています。その際、福祉事業

だからと甘えることなく、品質・納期・サービス等、他の印刷企業に伍して事業にあたることは言うまでもありません。

環境への意識と責任

印刷事業は、生産に必要な材料や設備が多く、残紙や薬剤を含めた廃棄物を排出するため、環境や資源の消費量に大きな影響を及ぼします。ユーザー様に、より廉価で高品位なものを提供するための努力を行うことは当然ですが、生産工程において消費すべき材料や電力をいかに省くかや、排出される廃棄物をいかに環境に配慮した状態にしたり減らしたりするかも、事業を行うものの責務として意識的に管理しています。これまでも生産設備の更新や材料の選定においては、環境負荷という観点で判断することで廃棄物等の削減につなげてきました。

また、10年間に渡り取り組んだ品質マネジメントの国際規格ISO9001では、社会に認められる手法で品質を維持するノウハウを培うことができ、自らも自信を深められました。これからもISOの手法を広く展開することで、品質管理はもとより環境配慮を始めとしたCSR推進に努め、事業価値を高めていくことを目指します。

コロニー印刷のCSR

コロニー印刷は、
CSR活動の推進により、
事業価値の向上を図っていきます。

印刷事業

印刷事業を通して社会に貢献しながら、
環境に配慮した印刷工程の実施、資材の
採用、設備・システムの導入を行う
ことで、CO₂排出や廃棄物の
削減を図っています。

古紙回収・ リサイクル

印刷事業を行ううえで残紙等の廃棄物の発生は
免れませんが、社会福祉法人東京コロニー
が加盟する団体が実施する古紙回収
リサイクルにのせることで100%
リサイクルを行っています。

省エネ・ 省資源

環境に対する従業員の意識を高めながら、
それぞれの業務や職場環境に常に目を配り、
省エネ・省資源に取り組んでいます。
また、設備や材料も環境面を
重視して選んでいます。

お客様の ために

常にお客様の立場で考えながら、個人情報保護
の徹底や品質管理体制の整備、従業員の
スキルアップを図ることで、お客様が
安心して使用できるモノづくりに
取り組んでいます。

地域社会の ために

工場見学・学生向け実習の受け入れや催事の
開催等、地域のコミュニティと積極的に
交流を図ることで信頼関係の確立に
努め、地域社会との共生を
目指しています。

本報告書について

本報告書は、社会福祉法人東京コロニー コロニー印刷のCSR活動について、5つの項目に分けて説明しています。

■報告対象期間

2012～2014年度(2012年4月～2014年3月)の3
年間の実績をベースに作成しました。ただし、一部の事例
については、対象期間外の報告も含んでいます。

■報告対象範囲

コロニー印刷の事業を対象としています。社会福祉法
人東京コロニーが加盟している一般社団法人ゼンコロの
活動についても一部取り上げています。

印刷事業 工程・資材に関する施策

環境に配慮した印刷工程の実施

私たちは印刷事業を行ううえで、環境に配慮した印刷工程の実施に取り組んでいます。たとえば、印刷工程のデジタル化(DTP化・CTP化)率は100%を達成しました。刷版(アルミ基材のもの)はリサイクル業者に処理を委託し、2016年度以降には、富士フイルム様の「PLATE to PLATE」というアルミリサイクルシステムを導入する予定です。また、印刷・製本工程で発生する損紙・残紙もすべてリサイクル業者に処理を委託しています。今後もすべての工程について随時検討を加えながら、環境に配慮した新たな取り組みを推進していく予定です。

今後の取り組み

クリオネマークの取得を検討

「クリオネマーク」とは、刷版・印刷の各工程で環境保護に貢献、配慮していることを示す「環境保護印刷マーク」の愛称です。E3PA(環境保護印刷推進協議会)が定めた認証ステータス登録基準に準じて製作された印刷物には、このマークを表示することができます。今後は機械設備、資材、ワークフロー等を必要に応じて見直ししながら、このマークの取得を目指し、取り組んでいきます。

環境にやさしい植物油インキを使用

インキに関しては、環境にやさしいとして印刷インキ工業連合会が制定した「植物油インキ(ベジタブルオイルインキ)」を使用し、マーク表示の登録もしています。協力会社についても、植物油インキを使用していることを条件に業者選定しています。

植物油インキのメリット

- ✓大気汚染につながる有害なVOC(揮発性有機化合物)の発生が少ない。
- ✓生分解性に優れ、廃棄処分されても地中の微生物がほとんど分解する。
- ✓紙との分離がしやすく、リサイクルに適している。
- ✓植物由来なので永続的に生産でき、化石燃料の節約になる。
- ✓原料である植物はCO₂を吸収するので、地球温暖化防止に役立つ。

植物油インキマーク



印刷インキ工業連合会が定めた植物油を使用した印刷インキや、その印刷物に表示できます。

今後の取り組み

FSC® CoC認証の取得を検討

消費者が安心して使用できる紙製品をお届けするために、FSC® CoC認証の取得を目指しています。FSC®は「森林認証制度」を運営する国際組織です。FSC® CoC認証とは、最終製品が出来上がるまでの製造・加工・流通の各工程において管理の連鎖がつながり、製品の追跡が可能であることを証明する認証制度です。認証を取得すると製品にFSCロゴマークを付けることができます。FSCロゴマークの付いた製品は、管理された原料を使用し、非認証原料と混ざっていない適切に管理されたものであることが保証されます。



印刷事業 設備・システムの導入

不要な印刷を減らし、環境にもやさしい オンデマンド機を導入

中野工場では2011年5月にリコー様製の「カラーオンデマンド機」を、東村山工場では2013年12月にキヤノン様製の「モノクロオンデマンド機」をそれぞれ導入しました。オンデマンド機の導入を決めたのは、オフセット印刷機と遜色ない高品質な仕上がりが可能となったことと、使用できる用紙の種類が格段に増えたことが理由です。

オンデマンド機はオフセット印刷機と違い、さまざまな品種の印刷に対応できたり、短納期を実現することができます。また、少数数に対応できるため、その都度必要なぶんだけ印刷することで、無駄な印刷の発生や不要在庫の廃棄を減らすことができ、節電にもつながります。

オンデマンド印刷とオフセット印刷の大きな違いは、刷版を使うかどうかということです。オフセット印刷は元となるデータを刷版として出力しなければいけませんが、オンデマンド機なら刷版を使わず、印刷機に直接データを送ることですぐに印刷できます。そのため特別な薬剤等も不要となり、環境や従業員の安全面にもメリットがあります。

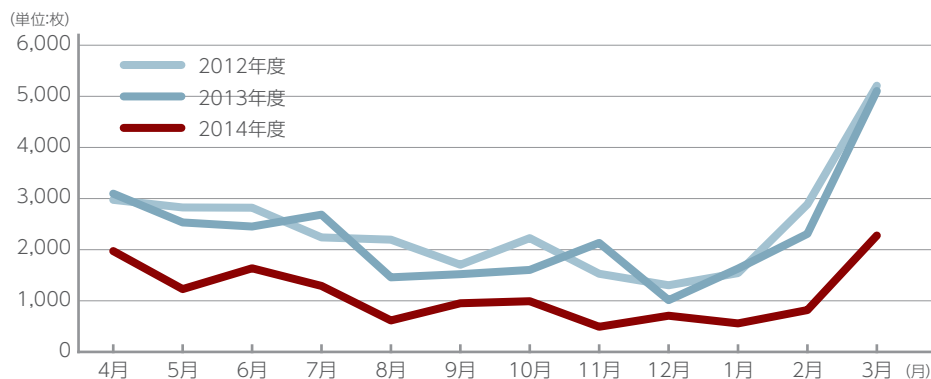


写真上／キヤノン様製 モノクロオンデマンド機
写真下／リコー様製 カラーオンデマンド機

紙版の出力枚数を大幅に削減

オフセット印刷ではアルミ版と紙版の2種類の刷版を使用しています。東村山工場では従来、多品種・少数数の注文に対しては、その印刷に適している紙版を使用していました。しかし、2013年12月に導入されたモノクロオンデマンド機で多品種・少数数に対応できるようになったため、2014年度の紙版の出力枚数は前年の半分以下となりました。

■東村山工場での紙版の出力枚数

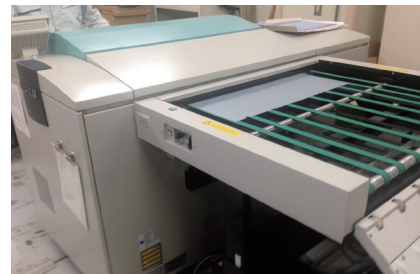


年間合計枚数

2012年度	29,459枚
2013年度	27,541枚
2014年度	13,543枚

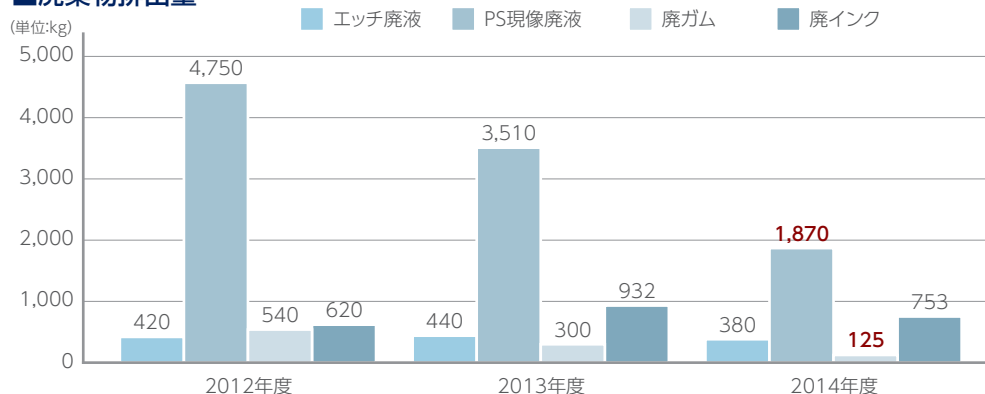
無処理版導入により有機溶剤排出量を削減

2013年9月から、刷版として富士フイルム様製の完全無処理サーマルCTPプレート「XZ-R」を採用しています。これにより、従来の刷版出力に欠かせなかった現像液やガム液での処理が不要になりました。廃液がなくなることで環境負荷を大幅に減らすことができるうえ、現像機が不要になったことで電気使用量の削減にもつながっています。現在所有している2台のCTP刷版出力機のうち1台でXZ-Rを使用していますが、将来的にはすべてXZ-Rに置き換え、廃液ゼロを目指します。



富士フイルム様製
完全無処理サーマルCTPプレート「XZ-R」

■廃棄物排出量



KIP様製モノクロ大判プリンター

モノクロ大判プリンターの置き換えで 廃トナー“ゼロ”に

以前使用していたモノクロ大判プリンターからは、廃トナーが2ヵ月に1本(500g)の頻度で出ていました。しかし、その後置き換えられたKIP様製のものには、廃トナーをそのまま通常の印刷用トナーとして再利用する機能が備えられているため、廃トナーがゼロになりました。

今後の 取り組み

アルミリサイクルシステム 「PLATE to PLATE」の導入を予定

2016年度以降、富士フイルム様のアルミリサイクルシステム「PLATE to PLATE」を導入する予定です。「PLATE to PLATE」とは、CTP版／PS版のアルミニウムを品質の低下を伴わずに再生するリサイクルシステムです。従来、CTP版／PS版には、良好な印刷特性を確保するためにアルミニウムの新地金を使用していました。しかし、新地金の製造には大量の電気が必要で、CO₂排出量が大きくなります。このシステムによってアルミニウムを再利用すれば、新地金を使用した場合と比べてCO₂排出量を最大約60%も削減できます。今後、社内で妥当性を検証したうえで、取り組んでいきます。

古紙回収・リサイクル

古紙は100%リサイクルに

単にコストの面からだけでなく、省資源、資源の有効活用、環境保全等の観点からも、無駄のない用紙手配や適性予備紙率、適性在庫の確保を徹底しています。残紙等の廃棄物については、社会福祉法人東京コロニーが加盟している一般社団法人ゼンコロの古紙回収リサイクルに100%のせています。さらに、印刷事業に関わるお客様においても、古紙等が大量に発生する場合はゼンコロの古紙回収リサイクルの利用を提案し、資源回収を行うことが企業イメージアップにも役立つことを紹介しています。

■古紙リサイクル量実績

(単位:kg)

年度	中野工場	東村山工場	合計
2012年度	1,329,120	169,920	1,499,040
2013年度	1,309,030	160,700	1,469,730
2014年度	1,055,123	129,050	1,184,173

ゼンコロの古紙リサイクル事業

一般社団法人ゼンコロは、2004年3月から「環境と福祉の融合」をキーワードに古紙のリサイクル事業を進めています。現在、多くの企業・団体から古紙の提供を受け、このリサイクル事業を通して障害者の新しい就労支援事業を立ち上げようと努めています。また、地域の社会福祉法人・障害者施設と連携を取りながら、地域に支えられた、障害者団体による古紙リサイクル事業のネットワーク化を進めていきたいと考え、実践しています。

古紙提供企業へはリサイクル報告書を発行

古紙を提供いただいた企業へは、ゼンコロが地球温暖化対策上のCO₂排出量削減効果報告書を発行し、回収量(企業の温暖化抑制貢献数値)を報告しています。



コロニー印刷を含む、それぞれの地域にある社会福祉法人や障害者施設が窓口となり、責任をもった回収手配をします。

省エネ・省資源

これまでの成果と今後の方針

CSR活動として組織全体で環境配慮への取り組みを進めてきましたが、「電気使用量」「水道使用量」の削減に関しては、徐々にその成果が現れてきています。今後も、各部署がそれぞれ主体的に考え、各自の業務や職場環境をその都度見直ししながら、さらなる課題解決に取り組んでいきます。また、設備や材料を選ぶ際にも、環境面を重視して判断していきます。

■電気・水道使用量実績

	2012年度		2013年度		2014年度	
	中野工場	東村山工場	中野工場	東村山工場	中野工場	東村山工場
電気使用量(Kwh)	188,170	384,129	174,251	374,217	154,560	358,802
水道使用量(m ³)	2,846	3,286	3,862	2,674	4,239	2,232

具体的な取り組み事例



電気

電気使用量削減への取り組みについては、クールビズや空調設定温度の管理、不在時消灯の徹底、ノー残業デーの実施が挙げられます。今後は、照明をLED電球に順次切り替えていくことを計画しています。



水道

2013年9月に導入した無処理版の使用が、水道使用量削減につながっています。従来の刷版では現像工程で洗浄槽での水洗いや、水で薄めたガム液が必要でしたが、無処理版ではこの工程が必要なくなりました。将来的には、すべて無処理版へ置き換えることを考えており、さらなる削減を目指します。また、事業所内の厨房では、水の流しっぱなしをしないよう、蛇口をまめに締めるよう徹底しています。



ガス

事業所では40食(中野)、70食(東村山)程度の給食を提供していますが、熱効率のよい大なべの使用や、湯煎によって暖かい食事を提供するなどの工夫で、ガスの消費量を抑えています。



梱包材

段ボールは資源回収を行っている障害者施設に委託しています。収集場所を一カ所設け、そこに事業所内の各部署から持ち込みます。



コピー用紙

不要在庫紙等を使い、施設利用者の描いた絵を表紙にしてメモ帳やお絵かき帳を作成し、催事等で廉価で販売し喜ばれています。コピー後に無駄になった紙は一部シュレッダーした後、袋に入れて梱包の際の緩衝材に利用しています。その他は100%、ゼンコロ古紙回収リサイクルに回しています。

お客様のために



個人情報保護方針(プライバシー・ポリシー)

取得並びにお預かりしました個人情報の保護に努めることを社会的責任として認識し、全ての理事、利用者および従業員が以下の項目について取り組むべくことを宣言します。

1.個人情報の取得・利用・提供について

個人情報を保護・管理する体制を確立し、個人情報を取得する際には利用目的を公表し、目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱い(“目的外利用”)を行いません。またそのための措置を講じます。

2.個人情報に関する法令・規範の遵守

理事及び利用者を含むすべての従業員は、個人情報の取り扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守します。

3.個人情報の安全対策

法人は、個人情報の正確性および安全性を確保するため、個人情報を正確かつ最新の内容に保つよう努めます。また、情報技術および管理体制の両面から合理的な安全対策を講じて、個人情報の漏洩や滅失、き損、改ざんなどの予防、または是正に努めます。

4.個人情報保護に関する苦情・相談

個人情報の取扱いおよび個人情報保護マネジメントシステムに関しての苦情・相談を受け付け、適切、かつ、迅速な対応をいたします。

5.個人情報保護に関する苦情・相談

法人は個人情報の保護を適切に維持・運営するため、個人情報マネジメントシステムを策定・維持し、継続的に改善します。

6.教育によるセキュリティの向上

利用者、パート、アルバイトを含む全従業員を対象に年1回以上の情報セキュリティ教育を実施しております。また、プライバシーポリシーに基づいた「守秘義務契約書」を全従業員が提出しています。

品質マネジメントシステム

国際標準化機構(ISO)が定めた国際的な品質マネジメントシステム規格ISO9001を2006年3月に取得後、2014年1月からは、それまでに培ったノウハウを活かして、ISO9001を土台とした独自の品質マネジメントシステムを構築・運用しています。さらに2014年4月には「品質向上委員会」を発足。各部署に担当者を置き、お互いに連携を取りながら組織全体で品質向上を図る取り組みをスタートさせています。

OJTの実施

毎年、職場ごとに業務における個人の目標を細かく定め、それに向けて定期的にトレーニングを行っています。



社外研修会への参加

印刷事業並びに障害者就労に関するセミナーに積極的に参加して、理解を深めるようにしています。また、セミナーの内容を内部で共有するために、月1回、営業部・製造部の幹部が集まり各種報告会を開催しています。

地域社会のために

工場見学の実施

特別支援学校の生徒さんとその家族、教職員のほか、行政や障害者支援関係機関の方が、年間100件以上、工場見学に訪れています。一般企業に近い職場環境で就労支援をしている様子や、社会性等の習得を支援する様子を紹介しています。

掲載準備中



大学生、通信受講生実習の受入れ

社会福祉士、精神保健福祉士等の国家資格の単位実習や、教員免許取得の際に義務づけられている社会福祉施設での体験実習を年間3〜40名程度受け入れています。福祉の仕事や教員を目指すうえで、障害のある方の人格や思いを尊重し、人としての関わり方や支援の現場を体験する機会となることを望んでいます。

コロニー祭り

年に1回、工場を開放してコロニー祭りを開催しています。地域住民の皆様と触れ合う絶好の機会となり、「楽しみにしているよ!」と応援してくれるサポーターも増えてきました。これからもコロニーが地域のコミュニティに認知され、双方で情報発信できる関係づくりに役立つよう、開催を続けていきます。

東村山市のゆるキャラ「ひがっしー」も登場し、ちびっこに大人気。



ボランティア清掃

毎年開催される市内商工会主催のお祭りで、ゴミ分別のボランティア活動を行っています。就労支援センター職員と、就職を目指す障害者数名が容器包装プラスチック、ビン・缶、燃えるゴミ、燃えないゴミ等に分別しています。

飲食事業の展開

飲食事業として、地域の交流の場となる店舗を運営。地元を中心とした催事等に出店することで、工賃の向上や障害者への理解促進を図るとともに、すべての人が平等に社会生活を送る「ノーマライゼーション」の考えの普及に努めています。

掲載準備中

社会福祉法人東京コロニー コロニー印刷

中野工場 〒165-0023 東京都中野区江原町 2-6-7
TEL.03-3953-3536 FAX.03-3951-9163

東村山工場 〒189-0001 東京都東村山市秋津町 2-22-9
TEL.042-394-1111 FAX.042-397-8117